

ロボット遠隔操作サービスを 活用した外観検査システム

協賛展示: リモートロボティクス株式会社 株式会社スカイロジック

一人による作業、ロボットによる完全自動化のどちらでもない、リモートによる人とロボットの役割分担という新たなリモートワークを実現するクラウドサービス「Remolink」を活用し、リモートシステムで人とロボットが共に働く新しいワークスタイルをご提案

完全自動化は目指さなくていい 人とロボットがリモートで共に働く、 新しい選択肢

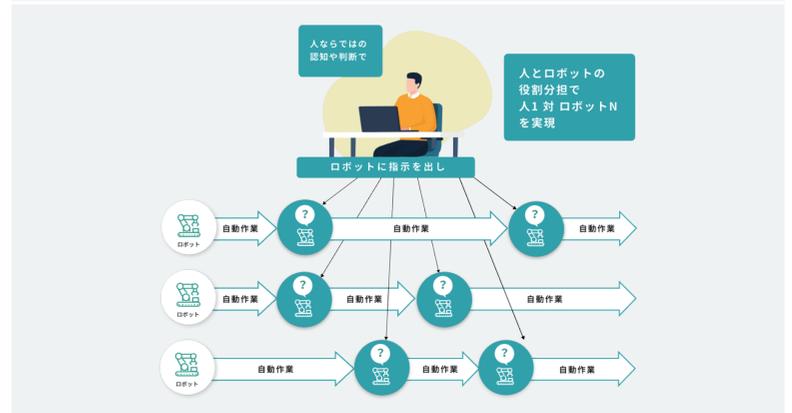
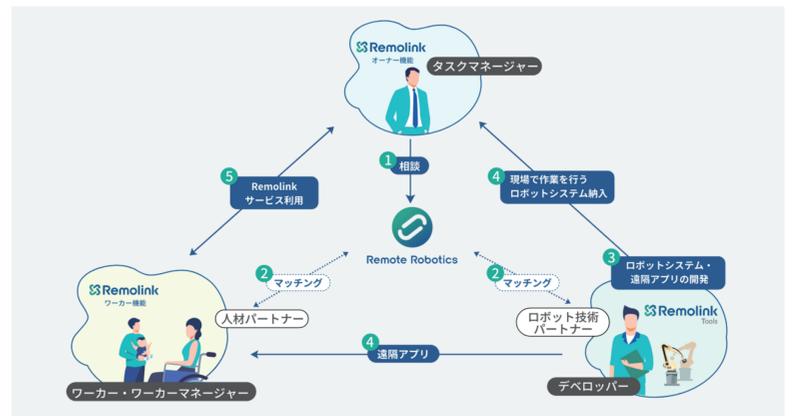
※デンソーウェブにてロボット遠隔操作サービスのメニュー化を検討中

「Remolink」を通じて、現場に導入したロボットシステムに対し、人が遠隔で指示を行うことで、「人の判断」と「ロボットの自律動作」双方を活かした人とロボットがリモートで共に働く新しい選択肢を提案

リモートワーカーとのマッチングサービスや
オーナーとワーカー間の指示や実績確認などの機能が利用可能

出勤が難しい、フルタイム勤務ができない作業でも
シフト勤務可能となり、雇用環境の改善や人手不足の解消に貢献

ロボットシステムの設置現場に行く手間がなくなり、
遠隔地から1人で複数のロボットを管理可能となるため、
1人工に満たない複数の工程を効率的に対応



Remolinkとデンソーロボットを組み合わせ、 外観検査工程をロボット化

AIによる画像検査とロボットによる自動搬送にロボットの遠隔操作を
組み合わせたシステムを構築。これにより、AI検査で不良判定や
判定困難となったワークを遠隔地から人が再検査可能

不良判定や判定困難なワークに対して、人の再検査結果を
AIに再学習させ、AIモデルの性能を向上させることで、
進化するAI外観検査システムを構築可能

検査の流れ



システム構成

